

水産業競争力強化緊急施設整備事業事後評価報告書

愛媛県農林水産部水産局水産課

目的	水産業経営の強化			
目標	労働コストの削減	整理番号 愛媛県-1		
事業実施者	宇和島市			
実施地区	宇和島地区			
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度		
	平成28年度～令和元年度	令和5年度		
助成金額	607,078,000円（9,244,000円+80,234,000円+517,600,000円）			
事業計画の内容	<p>【施行内容】実施設計、建設工事 【施設の規模構造】鉄骨造2,510㎡ 【付帯施設・設備】冷蔵庫60.4㎡、製氷貯氷施設・製氷5t/日・貯氷25t、清浄水供給設備、魚選別機1機3サイズ選別、計量機（トラックスケール）1機秤量20t・目量10kg、フィッシュポンプ2機移送能力35t/h・吐出量70㎡・対象魚体サイズ30cm以下、電動フォークリフト4機・水産仕様車・2.5t、排水処理施設・処理能力40㎡/日、駐車場2,854㎡・小型車95台駐車、外構ネットフェンス254m・防音フェンス54m 【施設の能力】年間水揚量6,000t</p>			
評価	取組の目標（KPI）	漁業所得		
		基準年	（平成27年度時点） 2,084千円	
		現状値	（令和5年度末時点） 3,938千円	増加率 89%
		目標値	（令和5年度末） 2,292千円	増加率 10%
	成果目標	年間便益額		
		現状値	（令和5年度末時点） 94,660千円	
		目標値	（令和5年度末） 115,217千円	
	（1）現状値の説明	魚市場統合による人件費の削減や、施設整備によるスペース・動線の確保、フィッシュポンプ等新たな設備導入による作業時間の短縮が図られた。しかし、フォークリフト通路確保や魚選別機導入による作業時間短縮については目標に届かず、全体としても目標値を達成しなかった。漁協職員及び仲買人の時給については、厚生労働省統計データを使用し、漁業者の時給については、農林水産省統計データを使用した。		
	（2）地域への経済効果（ハード事業のみ）	計画策定時（H28年度）の年間水揚能力は6,000トンとしていたが、施設整備に伴う陸揚作業の効率化もありR5年度の年間水揚量は15,000トンに増加した。魚価も安定しており水揚金額が伸びたことで漁業者の経営安定に繋がっている。		
	（3）所見	魚選別機導入による作業時間の短縮について期待していたが、選別機の対象魚であるアジ、サバ成魚の不漁が続き稼働率が低かったため、作業時間の短縮が図られなかった。また、漁業者等の時給（統計データより算出）上昇も影響した。		
（4）評価機関の意見等	適切に利用できているため、特になし。			
今後の改善方向等に関する分析	引き続き、適切な利用を続けるとともに、水揚げ量に応じて選別機の利用率向上に努めていく。			